

STAGE+を楽しむ(36)(HP 収載)  
—モーツァルトのヴァイオリン・ソナタ集—

1. 始めに

前報(35)に引き続き、STAGE+のモーツァルトのヴァイオリン・ソナタ集の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、ルノー・カプソンとキット・アームストロングによるモーツァルトのヴァイオリン・ソナタ集の演奏を選びました。

演奏:

ルノー・カプソン(ヴァイオリン)

キット・アームストロング(ピアノ)

曲目:

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第17番 ハ長調 K.296

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第18番 ト長調 K.301

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第26番 変ホ長調 K.302

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第27番 ハ長調 K.303

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第21番 ホ短調 K.304

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第22番 イ長調 K.305

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第23番 ニ長調 K.306

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 「羊飼いのセリメーヌ」による12の変奏曲 K.359

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト 「ああ、私は恋人をなくした」による6つの変奏曲 K.360

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第32番 ヘ長調 K.376

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第33番 へ長調 K.377

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第34番 変ロ長調 K.378

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第35番 ト長調 K.379

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第36番 変ホ長調 K.380

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第40番 変ロ長調 K.454

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第41番 変ホ長調 K.481

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第42番 イ長調 K.526

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第43番 へ長調 K.547



モーツァルトが多作とは認識していましたが、ヴァイオリンのソナタ集だけで、これほどあるとは知りませんでした。聴きなれた曲も多いですが、初めて聴くものも多くあります。

大半は明るく躍動的な長調の曲ですが、中には短調の憂愁の趣をたたえた曲もあります。

カプソンのヴァイオリンは、伸び伸びと艶があり、曲に合わせて表情を変化させています。

アームストロングのピアノは、響きが豊かで情緒に富んでいます。

これだけのヴァイオリンのソナタ集を集中的に聴いたことはありませんので、モーツァルトを理解する上で有益でした。

一部の曲は、サブシステムのPX25シングル駆動のAXIOM80でも聴いてみましたが、ピアノのスケール感が後退するほか、おおよその印象は変わりませんでした。

以上